

地震想定の避難訓練を実施しました！

5月2日(火)の2校時に、全校児童・職員による避難訓練が行われました。新しい避難経路を確認するとともに、避難するときの「おはしも」の約束を守りながら訓練を行いました。

今回の想定は震度4、授業中に地震が起き、机の下に避難した後、校庭に避難するというものでした。1年生の教室の様子を見ていましたが、子どもたち全員が避難放送や先生の指示を静かに聞いていました。机の下でも緊張感を持って頭と足を守るような姿勢でじっと待っていました。その後の校庭への避難も真剣な態度で行うことができました。事前指導として、朝の校内テレビ放送で、防災について学習したり、各クラスで担任の先生から避難訓練の意義や避難するときの約束について聞いたりしました。

一月前、大きな地震にみまわれた九州地方では、未だに地震が続いています。沢山の方が避難生活を行い、つらい日々を送っていることを考えると、本当にいたたまれません。一日も早く地震が収まり、安心して眠れる日が来ることを願っています。

今、私たちにできることは、「もしも」の時に備えて、真剣に考え備えておくことだと思います。地震が起きたらどんなことになるのか、具体的に子どもたちに伝えるとともに、どのように対応・行動するのが安全なのか、全職員で考えていくとともに、常に危機意識を持って学校生活を見直し、いざという時のために備えていきたいと考えております。前橋市では、震度5強以上の地震が起きた場合、状況によって児童生徒を下校させず、保護者等の迎えにより引き渡すことになっております。状況判断と対応について、より具体的に考えていきます。ご家庭でも折に触れご指導をよろしくお願いいたします。



大地震や爆弾低気圧等により通常の下校が危険と判断される場合の対応

- ア 下校時刻の繰り上げや方面別集団下校を実施。
- イ 安全が確認されるまで学校内で待機。通学路の安全が確保された後、方面別集団下校を実施。
[ア・イとも、お迎えに来ていただける方は通学路付近までお願いいたします]
- ウ 保護者による児童引取りを実施。
[地震や爆弾低気圧の規模により、状況によってはお迎えをお願いすることになります。どなたも引き取りに来られない場合は、学校で待機します。]

宮城地区の主任児童委員さんをご紹介します。

主任児童委員さんは、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、保護者の皆さんの子育ての不安や心配ごとなどについて、保護者の立場で、親身になって相談にのってくださいます。宮城地区にはお二人の主任児童委員さんがいらっしゃいます。主任児童委員さんには、秘密を守ることが法律で義務付けられております。どんな小さなことでも心配なことがありましたら、**下記までご連絡ください。**

主任児童委員様 (TEL)

主任児童委員様 (TEL)

「のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場」

5月22日(日)はご家族で楽しい休日を！

会場：宮城公民館(雨天時も行います)

5月22日(日)に宮城地区「のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場」が開催されます。前橋の子どもを明るく育てる活動の一環としての「のびゆくこどものつどい」と、信頼の輪を広げ安らぎのある町づくりを趣旨とする「ふれあいの広場」を同時開催することにより、子どもたちの健全育成と地域福祉の向上を図るものとして毎年開催されております。青少年健全育成会を中心に、自治会連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、子ども会育成団体連絡協議会などのほか、たいへん多くの地域の関係団体の皆様にお世話になります。中学生もボランティアとして大勢参加してくれるそうです。ぜひご家族で日曜日の午前中を楽しくお過ごしください。

日時：5月22日(日) 午前9:00～正午

場所：宮城公民館(雨天でも行われます)

**内容：むかし遊び・ストラックアウト・輪投げ・ヨーヨー釣り・消防コーナー・警察コーナー
ポニー乗馬体験(10:00～)・福祉体験コーナー(車いす・アイマスク・福祉車両)
おもちゃの病院・試食コーナー(綿菓子・ポップコーン・うどん・おやつのみもの)
花苗配布・ミニ消防車乗車体験**

